

令和元年度「子ども大学さやま」第5回目講義・修了式

12月21日（土）子ども大学さやま第5回目講義・修了式が行なわれました。

子ども大学とは…。

大学のキャンパスなどで小学校では学べないことを大学の先生などの専門家がわかりやすく教えるものです。内容は、

ものごとの原理やしぐみを追求する「はてな学」

地域を知り、郷土を愛する心を育てる「ふるさと学」

自分を見つめ人生や将来について考える「生き方学」

と3分野の講義を基本に行なわれるものです。

第5回目の講義は武蔵野学院大学 教授 佐々木 隆先生による「がんばれニッポン！狭山市も会場に！！2020年東京オリンピック・パラリンピック～すべては大空翼と岬太郎のツイーンシュートから始まった～」【はてな学・ふるさと学】でした。

暗くした教室にトーチ形のペンライトを持って登場した佐々木先生の講義はオリンピックやパラリンピックに関するクイズから始まりました。オリンピックの語源や発祥の国ギリシャについて、クイズを楽しみながら知識を得ていきます。特に、パラリンピックについて、その意味、競技に関する詳しい説明があり、子どもたちはオリンピックだけではなく、パラリンピックについても興味を強く持ったようです。休憩を挟んで、後半はオリンピックに関連したキャラクターが紹介されました。リオオリンピック閉会式での東京への引き継ぎセレモニーの動画から、日本が世界に誇る豊かなキャラクター文化とそのパワーを確認してきます。最後に前半も含めたオリンピック・パラリンピックについての知識を復習して講義終了です。講義後も「パラリンピック」の「パラ」が示す「パラプレジア」や「パラレル」という言葉を何度も復唱する子どもたちの姿が印象的でした。

授業の後、修了式が行われました。子ども大学さやま学長代理 林猛先生（武蔵野学院大学副学長）から1人1人修了証書を受けとり、学生代表から5日間の授業の感想を発表しました。修了式の後に、狭山市七夕の妖精おりぴいが来てくれました。最後は記念撮影ができて子どもたちも大学生アテンダントも大喜びでした。

来年度も子ども大学さやまは開講する予定です。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

